



| ART OSAKA 2016 特別展 |

進撃!抽象絵画 Attack of Japanese Abstract Paintings

加賀城健 / 大崎のぶゆき / 内山 聡 / 江川純太 / 岡本 啓 / マリアーネ / 山路絃子 / 安藤隆一郎

2016年 7月2日[土] - 3日[日] | プレビュー | 7月1日[金] (詳細は裏面をご確認ください)

ホテルグランヴィア大阪 26階[room #6219]

入場無料 但し、ART OSAKA 2016への入場料1,500円が別途必要

 ART OSAKA 2016

進撃!抽象絵画 Attack of Japanese Abstract Paintings

開催概要 | 会期 | 2016年7月2日[土]-7月3日[日] (プレビュー:7月1日[金])
 | プレビュー | 1日[金] 14:00-20:00(招待客・プレス関係者のみ)
 | 一般公開 | 2日[土] 11:00-20:00, 3日[日]11:00-19:00
 ※ご入場はフェア終了の1時間前迄
 | 会場 | ホテルグランヴィア大阪 26階 #6219
 〒530-0001 大阪市北区梅田3丁目1-1(JR大阪駅直結)
 | 入場料 | 無料(但し、ART OSAKA 2016への入場料1,500円が別途必要)

ギャラリートーク | 日時 | 2016年7月2日[土]・7月3日[日] 14:00~16:00~
 ※各日各回2名ずつの紹介を予定しております。
 詳細は決まり次第、フェアホームページに告知いたします。

| フェアホームページ | <http://www.artosaka.jp/jp/event>

このたび「ART OSAKA 2016」特別企画として、展覧会「進撃!抽象絵画」を開催いたします。本展は昨年開催した「反撃!抽象絵画」のシリーズ第二弾です。今回は若い世代(30~40代)の抽象表現に注目し、出展ギャラリーの中から8名の作家をセレクトしました。既存の抽象絵画のイメージは、抽象表現主義や幾何学的抽象に代表される絵画を思い浮かべますが、本展では写真や映像、テキスタイルなどのメディアにも注目し、モダニズムをベースとして生まれた抽象絵画の概念を拡大拡張、あるいは逸脱するような作品をご紹介します。本展を通して、今日の抽象絵画の可能性を感じて頂けたら幸いです。

キュレーター 加藤義夫 | 加藤義夫芸術計画室

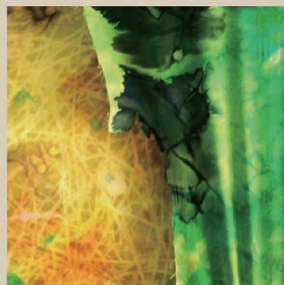
出展作家

加賀城健 Ken Kagajo

1974年大阪府生まれ。伝統を踏まえた染色技法と布の特性や多様性を活かし、絵画作品からインスタレーションまで幅広い形態の作品を発表している。近年の主な展覧会に、「ASIA-EUROPE II / Deutsches Textilmuseum グレーフェルト・ドイツ(2014)」、個展「Essential Depths / the three konohana 大阪(2015)」。

| 協力 | the three konohana (#6010)

▶ カッコウの友達はカッコウ (部分)
 | dyeing cotton, wood | 115 × 592 cm | 2015



大崎のぶゆき Nobuyuki Osaki

1975年大阪府生まれ。2000年京都市立芸術大学大学院版画修了。絵画が溶け消失していく作品や壁紙のイメージが流れ出す作品など、実際に描かれたイメージが消失する過程により、絵画の虚構性や社会に対するリアリティについて問いかけ、「不確かさ」の感覚を視覚化する作品を発表。主な展覧会に「未見の星座 / 東京都現代美術館(2015)」、「現代絵画のいま / 兵庫県立美術館(2012)」など。

| 協力 | ギャラリーほそかわ (#6007)

▶ dimension wall (c.o/k01-13) (部分)
 | mixed media | 69 × 54 cm | 2013



内山聡 Satoshi Uchiyama

1978年神奈川県生まれ。2005年多摩美術大学大学院美術研究科修了。既成の絵画論に疑問を投げかけ、絵画を様々な視点から解体し再構築することをテーマに掘り制作している。近年の主な展覧会に「クリクする人間、動物、あるいは機械 / Gallery OUT of PLACE 東京 奈良(2014, 2015)」、「From now on!! 藤沢発、アートのこれから / 藤沢市アートスペース(2015)」、「Melting Core / Gallery OUT of PLACE NARA(2012)」など。

| 協力 | Gallery OUT of PLACE (#6312, #6322)

▶ It's growing up
 | paper tape, backing paper | φ164 × 2 cm | 2016



江川純太 Junta Egawa

1978年神奈川県生まれ。2003年多摩美術大学卒業(日本画専攻)。物質が動いた痕跡としての絵画を実践し、油絵具の性質を捉えた様々なアプローチを試みる。置く、伸ばす、削ぐといったキャンパスの前の作家自身の行為や身体性に主体を置きながらも、その記憶装置としての機能をこえる生々しい絵画を両立することを目指している。

| 協力 | eitoeiko (#6215, #6224)

▶ あなたもすぐに変わる。
 | oil on canvas | 45.5 × 45.5 cm | 2012

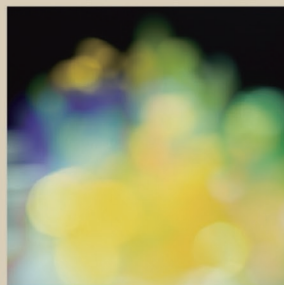


岡本啓 Akira Okamoto

1981年大阪府生まれ。2004年大阪芸術大学美術学科卒業。写真現像技術を用いて印画紙上に「像」を描き出す、フォトブラッシュ(=photo brush)ともいえる独自の手法で多様なイメージを表現。色彩豊かな作品群はほぼ全てが暗室内での手作業で制作されている。ここ数年では写真素材に留まらず立体、ドローイング、コラージュなど表現の幅を広げイメージと知覚の問題に取り組む。

| 協力 | Yoshiaki Inoue Gallery (#6303)

▶ Photographic memory-イネスノイラテ
 | photo brush | 60 × 60 cm | 2010



マリアーネ mariane

1982年、日本人の両親のもとブラジル生まれ。2003年京都嵯峨芸術大学短期大学部イラストレーションコース卒業。作品に現れるイキモノは息をしているようにみえる。生態系に社会や世界を重ねながら昔から変わることなく生物が続いてきたおおかさと強さに加え、近年は人間が持つ祈るという行為が頻繁に制作に表れる。「群馬青年ビエンナーレ」(2010)奨励賞受賞、「VOCA展」(2015)出展。

| 協力 | studio J (#6216)

▶ あの日、確かに宇宙を持っていた (部分)
 | wood panel, japanese paper, acrylic gouache, silver leaf | 56 × 175 cm | 2015



山路絢子 Hiroko Yamaji

1983年三重県生まれ。武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻油絵コース修了。「アートアワード東京」(2008)、「群馬青年ビエンナーレ」(2008)、「所沢ビエンナーレ」(2009, 2011)などの国内の展覧会の他、海外のグループ展「VERLANGSAMTE PERFORMANCE / Van Horn デュッセルドルフ・ドイツ(2012)」、「Unechte Landschaft / BKV Brandenburgischer Kunstverein Potsdam e.V. ポツダム・ドイツ(2015)」に参加するなど、国内外で精力的に活動している。

| 協力 | NANZUKA (#6101)

▶ Untitled (部分)
 | oil paint on canvas | 81.5 × 70 cm | 2010



安藤隆一郎 Ryuichiro Ando

1984年京都府生まれ。2009年京都市立芸術大学大学院染織専攻修了。藍染めの一枚の布に幾十にも染料を染み込ませる技法を用い、身体覆う皮膚を通してその内側で起こる現象を表現する。近年では建築空間に染料の経年変化による退色を生かした作品を制作するなど、染色技法を生かした様々な表現に取り組む。

| 協力 | MORI YU GALLERY (#6214, #6223)

▶ 水平線が沈んだあと (部分)
 | chemical dye on cotton cloth by batik | 180 × 160 × 4 cm | 2014

